

サッカー一部通信 第5号

2024年4月15日発行

新人戦の振り返り

立高サッカー部は2月4日の都立府中戦に負け、地区3回戦で敗退しました。新チームでの初めての大会だったため、チーム全体としての完成度は低かったものの、セットプレーやクロス、前からはめてショートカウンターなどチームとして得意な形、強みと言えるパターンができつつあり、自分たちに自信を持つことができるようになりつつあっただけに悔しい結果となりました。

今大会を受けて声と考えることの重要性を再認識しました。自分たちが、今何が原因でうまく行っていないかの情報共有ができないまま試合を行っていたり、複数人でプレスをかけてしまったりと声が必要な要素となる反省点が見つかりました。また、失点後にチームを盛り上げる声が多くなく雰囲気が悪いまま試合を続けてしまいました。新チームになって練習中でのポジティブな声かけは増えていると思うので、試合中でもそのような声掛けを増やしていければ良いと思います。

また、自分たちがボールを保持する時間の大切さを知りました。この試合で自分たちがボールを安定して保持する時間が少なかったように感じられました。そのような時間帯がないと、相手に主導権を持たれやすくなり体力的、精神的に辛いと思います。これから気温が上がってくる時期になると試合終盤に体力が切れ負けてしまうというのも起こると思います。そこで現在我々はボールの保持をテーマとした練習をしています。ボールを奪われないことは練習中できる場面が増えてきたのですが、試合になると簡単に奪われてしまうことがあるので改善できるよう頑張っていきたいと思います。

4月からユースリーグやインターハイも始まります。新人戦で明確になったチームの課題を、日ごろの練習を大切にして改善し、勝利をつかみ取ります。今後とも立高サッカー部の応援よろしくお願いします。

立川五中サッカー部との合同練習

12月に立川五中のサッカー部と合同で練習をしました。立高サッカー部は、このサッカー部通信や今回のような活動を通して、中学生にサッカーの面白さをどんどん発信していきます！



お知らせ

この度、立高サッカー部が所属する第7地区ユースリーグのホームページを作成いたしました。ここから、立高サッカー部のリーグ戦の対戦成績を閲覧できます。

<https://sites.google.com/view/youthleague-7>

ギャラリー

